

施策評価シート（令和4年度 実績）

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる
------	-----------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域商工業の活性化	評価者	環境・産業担当参事			
施策内容	町内の産業の活性化を図るため、商工会等と連携し、起業及び経営支援を行うとともに、地域資源の活用や地域ブランドの育成により、新たな魅力の創出を促進します。また、キャッシュレス決済やコワーキングスペースなど、新しい時代の流れに沿った多様な働き方に対応した環境整備について検討していきます。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	商工業振興対策経費	適当	有効だった	事業継続支援などの補助事業を実施し、事業者を支援した。	
	2	中小企業金融対策事業	適当	有効だった	令和3年度に引き続き事業者支援を推進した。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	起業相談件数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	22	20	20	20	A
	実績		20	30	27	
	分析	計画どおり推進できた。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	二宮ブランドの新規認定商品数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	3	3	3	3	C
	実績		0	0	2	
	分析	現在の指標では施策の進捗が測れないため、次期計画では指標を見直す。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案		二宮ブランドの認知度	
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	中小企業融資件数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	11	30	10	10	A
	実績		20	11	20	
	分析	計画どおり推進できた。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響に対する補助事業（第3次中小企業等事業継続支援金、プレミアム商品券）の実施、商工会や金融機関と連携し創業支援を行い、事業者への支援を図った。</li> <li>・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルスによる商工業への影響は徐々に回復傾向にあるものの、活性化に向けて今後も継続的に支援を推進していく必要がある。</li> <li>②二宮ブランドの認定件数を維持することに加え、認知度の向上を図る必要がある。</li> </ul>			
	改善点 (課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業者への支援については、対話を通じてニーズを的確に捉え支援策を実施する。</li> <li>②二宮ブランドは、商工会や事業者と連携を図り、販路や周知方法等の検討を通じ、認知度の向上に努める。</li> </ul>			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活性化の面からも、商店街を一つのコミュニティプレイスとして、商品と情報の交換の場として捉え、町として支援していくことも検討してはどうか。</li> <li>・KPI②「二宮ブランドの新規認定商品数」を見直すことは適切だと思うが、認知度で評価するのは難しいと考える。</li> <li>・二宮ブランドの知名度をもっと高めるため、企業などの力も借りながら積極的にブランド展開していく必要がある。</li> <li>・起業開業件数、雇用創出数などのアウトカム指標があると事業の進捗や効果が分かりやすい。</li> <li>・事業主の高齢化や後継者問題などで廃業する店舗が増加する中、町内でキャッシュレス決済を導入する施策には、事業者の意向を把握したうえで行政側の積極的なアプローチと支援策が必要である。</li> <li>・主に現金決済をする高齢者の感染症対策としても、高齢者に適したクレジットやプリペイド機能を有したキャッシュレス決済の導入は重要な施策と考える。第3期総合戦略ではキャッシュレス決済の導入支援について一歩踏み込んだ記載となっているため、行政が商工業の振興を目指して関係団体と連携してサポートを行うとともに、商工会へのエールを含めてKPIを設定するべきである。</li> </ul>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各事業の 今後の方向性	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	商工業振興対策経費 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮ブランドの認知度向上のため、町内に限らず様々な場所での販売会など、商工会と連携して効果的なプロモーションを実施する。</li> <li>・商工業の活性化のため、事業者とキャッシュレス決済の導入支援等について検討する。</li> </ul>
	2	中小企業金融対策事業 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き融資等による中小企業の下支えを行っていく。</li> </ul>